

所属	社会福祉学部	職名	教授	氏名	田村 真広	大学院の授業担当の有無	(有・無)
授業科目							
社会福祉学部	教養基礎演習B、教育原理、教育方法研究、福祉教育論、福祉科指導法、教育実習、専門演習、卒業論文、福祉計画の世界、福祉計画インターンシップ						
通信教育科	ボランティア・市民活動論						
社会福祉学研究科	地域福祉研究						
教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概 要				
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) リアクションペーパーの活用		2001～2016 年度	大人数の講義科目では毎回リアクションペーパーに記入させ、次回冒頭に質問等に答えることで、内容理解を助けた。				
ハンセン病療養所「全生園」をフィールドにした伝承教材パネルシアターの作成と実演		2015～2016 年度	教職課程2年生が「教育方法研究」において、ハンセン病資料館を活用して伝承教材パネルシアターを作成・実演し、学芸員から講評を受けた。				
2 作成した教科書、教材、参考書 『教育実習レポート集2016』刊行		2017年3月	教職課程の履修学生、教員に配布し、事前事後指導に活用した。実習校の教員、協力校の教員に配布して、講評をいただいた。				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 高校及び特別支援学校での教育実習報告会を開催		2017年1月31 日	教職課程の非常勤講師、実習校の担当教員、教職に就いている卒業生の参加を得て指導講評をいただいた。				
パネルシアターの実演と制作ワークショップ		2017年3 月18-25日	ネパール・スタディツアーに学生を引率し、カトマンズ市内の小学校において防災教材を含むパネルシアターの実演・制作のワークショップを行った。				
4 その他教育活動上特記すべき事項 出前授業「福祉入門」		2017年3月14 日	東京都立高島高等学校において、子どもの貧困をテーマに授業を行った。				
研究活動							
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数		
< 著書・編著書 >							
< 研究論文・研究ノート >							
高大連携・高大接続の現状から福祉教育を見直す	単著	2016年11月	研究紀要、Vol.27、日本福祉教育・ボランティア学習学会		71-83		
< 調査・研究報告書 >							
< 翻訳 >							
< その他の執筆活動 >							
ミツパチは私たちの今と未来を映す「鏡」である	単著	2016年5月	生活教育、No.810、生活ジャーナル		74-75		
世代をつなぎ、他者をつながり、希望をつむぐ;生きづらい時代をともに乗り越える	単著	2016年8月	生活教育、No.813、生活ジャーナル		68-76		
自分を見つめ、関わる力を育て、社会認識を編む	単著	2016年11月	生活教育、No.816、生活ジャーナル		74-75		
福祉学分野	単著	2017年3月	蛭雪時代4月臨時増刊、87-2、旺文社		440-442		
学会等および社会における主な活動							
< 学会報告 >							
2016年6月25日	日本社会事業大学社会福祉学会第55回研究大会、自主企画分科会報告、相原朋枝ほか「福祉を学ぶ学生のための教養教育としてのハンセン病研究」、「社会事業研究」pp.75-79						
2016年6月26日	日本社会事業大学社会福祉学会第55回研究大会、分科会報告、「ハンセン病問題」の伝承教材としてのパネルシアターづくり、「社会事業研究」pp.63-66						
< 講演活動 >							
2017年2月18日	講演「福祉教育のこれまでとこれから」、学校福祉研究会、京都精華大学。						
< 所属学会 >							

2016年度	日本教育学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会(理事、事務局長)、日本社会科教育学会、日本教師教育学会、日本カリキュラム学会、日本教育方法学会、日本教育史研究会、日本社会福祉学会。
< 社会的活動 >	
2010年8月～2017年3月	日本生活教育連盟常務常任委員会副委員長・研究部長
2010年5月～2017年3月	(社)日本社会福祉教育学校連盟福祉教育委員会委員
2014年1月～2017年3月	文部科学省初等中等教育局高校教育改革PT「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」審査委員
2015年12月～2016年11月	(独)日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員
2013～2016年度	非常勤講師「福祉科教育法」、上智大学総合人間科学部
学内役職2016年度	教職課程主任、入試委員長、教養教育委員会、保育士課程委員会。